

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	デジタル式同報系防災行政無線整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 30年度

【事業全体概要】

事業の概要	地震や風水害などの自然災害や武力攻撃などの緊急事態の場合、市民等へ迅速かつ確実に情報を伝達するため、屋内で災害時の緊急情報等を受信できる防災ラジオの普及を図る。 なお、市内全域におけるデジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局の拡充整備は、平成 27年度完了した。				
	29年度概要	防災ラジオの製作委託 F M高松 800台 地域振興波 500台 防災ラジオ諸費用 防災行政無線整備費用（アナログ式同報系屋外拡声子局・アナログ式移動系親局等撤去、危機管理センター拡声子局）			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	災害時には市民への多様な情報伝達手段が必要であることから、その手段の一つが確保され、災害情報伝達の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
各年度における防災ラジオ整備進捗率	%			76.4	79.5	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	防災ラジオ普及率	%	目標値			68.3	79.5	100
			実績値			76.4		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標としていた防災ラジオ普及率を超えて達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 111.9%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	142,988	404,900	133,424	78,955
（事業費）	[円]	131,916	393,384	126,358	71,104
（職員人件費）	[円]	11,072	11,516	7,066	7,851

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

防災ラジオの普及率は、F M高松タイプが71.8%、地域振興波タイプが85.7%となり、目標通りに普及しており、今後も普及啓発に努めていく。また、難聴地域が存在するため、伝播状態を調査しながら、逐次対策に取り組んでいく。  
デジタル式同報系防災行政無線整備については、関係者との協議に日時を要したため29年度へ繰越となった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

防災ラジオについては、平成30年度まで目標に沿って普及啓発に努め、合わせて、難聴地域への有効な対策を検討していく。また、デジタル式同報系防災行政無線整備については、繰越事業は速やかに完了させ、29年度事業であるアナログ式防災行政無線の撤去工事等を行っていく。